

# 水牧 未発表の掛け軸など201点

## 小林氏の遺族 県立図書館に寄贈

あすから展示

郷土の歌人・若山牧水が  
残した未発表の掛け軸  
を含む牧水関連の作品201  
点が県立図書館に寄贈され、きょう同館が記者発表した。遺墨などを  
長年収集し、今年5月に  
逝去した宮崎市清武町の  
故小林邦雄氏(享年80)  
の遺族から寄せられた。  
未発表の掛け軸は「降

ればかくれ 曇ればひそ  
み 晴れて照る かの太  
陽をこころとはせよ 大

馬鹿に奈る法を詠めと言  
はれて」。大正11年ごろの  
作とみられるという。

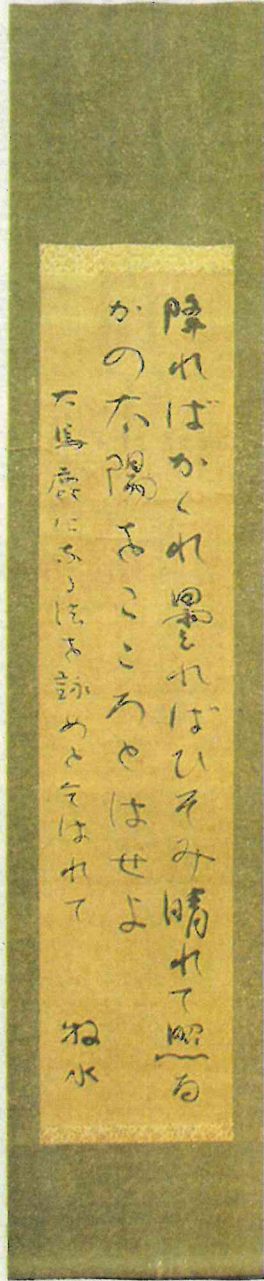
ももとの所有者は不明だが、24年前に牧水の  
長男の故旅人氏が買い戻  
している。

そうとしたことが分かっ  
ている。掛け軸が収められてい  
る。

た木箱の箱書きには「こ  
れは牧水の全集にも、ま  
た全歌集にも日記にも  
こされておらず未発表の  
ままうづもれて居たこの  
世に一首のみと云う貴重  
な一首である(中略)ま  
さに稀品として遇すべき  
眞筆と云わねばならぬ一  
軸である」と記されている  
同館の伊藤一彦名誉館

長も「隠れ潜んでいる時  
も太陽は輝くという、自  
然体の生き方を込めた自  
分に対するメッセージと  
読める。大変いい歌で代  
表歌に入れていい歌だと  
思う」と評価した。

故小林氏は「牧水の遺  
墨が散逸するのは忍びが  
たい」と、約30年間にわ  
たり掛け軸や色紙、短冊、  
書類、雑誌などを収集・  
保存。生前から公的機関  
に寄贈したいと希望して  
いたという。



寄贈された若山牧水の未発表掛け軸(県立図書館)

長男剛さん(46)＝横  
浜市＝は「父は宮崎が  
大好きで、中でも牧水に  
心酔し、収集に情熱を注

いてきた。遺志をしっか  
りとくみ取って、県民の  
皆さまに広く鑑賞、閲覧  
していただく機会を永続  
的に設けていただきたい  
い」とコメントした。

同館はあすから来年1  
月20日まで、2階特別展  
示室で「小林邦雄コレク  
ション」若山牧水遺作  
展」を開催する。